

第3回兵庫県内ドクターヘリ運航対策検討会 議事概要

日 時：令和8年8月28日（金） 11:00～11:30

場 所：兵庫県災害対策センター1階災害対策本部室

出席者：出席者名簿のとおり

挨拶

○兵庫県保健医療部 吉川次長

- ・本日は、お忙しいところ第3回兵庫県内ドクターヘリ運航対策検討会に出席いただき感謝申し上げます。
- ・また、日頃から兵庫県の救急医療体制の確保にご尽力いただいている関係機関の皆様に改めて御礼申し上げます。
- ・ドクターヘリの運航については、昨年度から運航体制の確保が大きな課題となっており、本年度に入ってから整備士不足への対応や2パイロット制導入に向けた調整など、関係者の多大な協力をいただいていた。
- ・そのような状況の中、基地病院、消防機関、運航事業者、関係府県の皆様には、代替搬送手段の確保や運航調整等を通じて、県民への救急医療提供体制の維持に尽力いただいたことに感謝申し上げます。
- ・本日は、7月の運休期間中の対応状況を振り返るとともに、2パイロット制の運用状況や現場での受け止めについてご確認いただく。
- ・また、9月以降の運航体制について関係者間で共通認識を図り、今後の安定的な運航につなげていきたい。
- ・限られた時間ではあるが、忌憚のないご意見をお願いしたい。

7月運休への対応状況

（兵庫県保健医療部医務課より資料に基づいて説明）

9月の運航調整状況について

①整備士に代えて操縦士を同乗者とする運用（2パイロット制）について

○学校法人ヒラタ学園

- ・整備士不足により一部運休や左席運用など通常と異なる運航体制となり、関係機関に負担と心配をかけていることについてお詫び申し上げます。

- ・ 8 月中に豊岡ドクターヘリで整備士 1 名、兵庫県ドクターヘリで整備士 1 名の O J T が完了した。
- ・ 現在までに合計で操縦士 4 名、整備士 4 名の O J T が完了している。
- ・ 9 月については O J T の予定はない。
- ・ 左座席運用中に 2 件の不具合が発生した。
- ・ 1 件目は 8 月 3 日、豊岡ドクターヘリにおいて、飛行前点検時にクラムシェルドアのロック機構の不具合を整備士が確認した。整備マニュアルに基づき点検した結果、ロック機構のずれが確認されたため調整作業を実施し、異常がないことを確認した上で同日 12 時から運航を再開した。原因はロック機構の経年消耗によるものと判断している。
- ・ 2 件目は 8 月 6 日、豊岡ドクターヘリにおいて、飛行後点検時にランディングライトの電球切れを整備士が確認した。トラブルシューティングの結果、MEL 適用（修理を持ち越せる条件や基準が示されたもの）にて運航を継続し、翌朝、8 時 30 分より運航を休止し、整備書類作成等の対応後、9 時 40 分より運航を再開した。原因は電球の経年劣化によるものと判断している。なお、8 月 8 日に電球交換を実施した。

○県立加古川医療センター 小野救急科部長

- ・ 2 パイロット制導入後、フライトクルーへの聞き取りを実施した。
- ・ 導入当初、搭乗を見合わせたいとの申し出があった者が 1 名いたが、自主的な意見として、9 月から搭乗を再開したいとの意向が示されている。

○県立はりま姫路総合医療センター 高橋救命救急センター長

- ・ 現在、2 名の医師が 2 パイロット制運航時の搭乗を見合わせている。
- ・ 医師の O J T は一旦見合わせているが、再開について検討中である。看護師の O J T は再開している。
- ・ 安全面について問題はなく、運休日が解消されたことに感謝している。

○公立豊岡病院

- ・ 2 パイロット制は問題なく運用できており、現場スタッフへの聞き取りでも不安の声は確認されていない。

② 9 月以降の運航体制について

○学校法人ヒラタ学園

- ・ 9月の計画運休は、兵庫県ドクターヘリ、豊岡ドクターヘリともに0日である。
- ・ 10月以降についても全日運航を基本方針として調整を進めている。
- ・ 9月の左席運用実施日は、豊岡ドクターヘリが30日中7日（約2割）、兵庫県ドクターヘリが30日中12日（約4割）となる予定である。

○兵庫県保健医療部医務課

- ・ 2パイロット制の導入により一定の運航体制の確保が見込まれることとなった。
- ・ 9月以降については、兵庫県ドクターヘリ及び三府県ドクターヘリともに2パイロット制を踏まえた全日運航をお願いしたい。
- ・ ただし、2パイロット制はあくまで例外的な措置であり、整備士搭乗による通常体制を基本としていただきたい。
- ・ 安全運航を最優先とし、運航スタッフに過度な負担をかける運航調整を行わないこと、やむを得ない運休が発生する場合は基地病院と事前に十分な調整を行うことを運航事業者であるヒラタ学園をお願いしたい。

質疑

○兵庫県メディカルコントロール協議会 石原委員長

- ・ 関係者の努力により計画運休が最小限に抑えられたことに感謝する。
- ・ 左席運用時に発生した不具合について、2パイロット制そのものが原因ではなく、経年劣化等による事案であるとの理解でよいか。

○学校法人ヒラタ学園

- ・ そのとおりである。

○兵庫県メディカルコントロール協議会 石原委員長

- ・ 当該不具合は整備士によって発見されたという理解でよいか。

○学校法人ヒラタ学園

- ・ そのとおりである。搭乗はしていないが、点検は整備士が実施している。

○兵庫県メディカルコントロール協議会 石原委員長

- ・ 2パイロット制導入後に搭乗を見合わせていたスタッフが搭乗再開を申し出た経緯について確認したい。

○兵庫県保健医療部医務課

- ・県立加古川医療センターからは、2パイロット制導入後1か月が経過し、特段の支障が認められなかったことから、2パイロット運用時にも搭乗するとの申し出があったと報告を受けている。

○県立加古川医療センター 小野救急科部長

- ・説明のとおりである。なお、搭乗再開を申し出た者がフライトドクターかフライトナースかについては回答を差し控える。

閉会

○兵庫県保健医療部 吉川次長

- ・本日は、7月の運休対応状況、2パイロット制の運用状況及び9月以降の運航体制について報告いただいた。
- ・7月の運休期間中においても、他県ドクターヘリや消防防災ヘリ、ドクターカー等の代替手段を活用しながら、関係機関の連携により救急医療提供体制が維持されたことを改めて確認できた。
- ・また、2パイロット制導入に向けたOJTが順調に進み、9月以降は両ドクターヘリとも全日運航を原則とした体制が見込まれることとなった。安定運航に向けた一定の道筋が見えたことを大変心強く感じている。
- ・一方で、ドクターヘリは県民の命を守る重要な社会基盤であり、安全運航が何よりも最優先である。現場に過度な負担をかけることなく、持続可能な体制を構築していくことが重要である。
- ・県としても、運航事業者、基地病院、消防機関をはじめとする関係者と引き続き緊密に連携し、県民が安心して救急医療を受けられる体制の確保に努めていく。
- ・本検討会については必要に応じて今後も開催するが、少なくとも2パイロット制運用終了後には、実績の取りまとめを本検討会で報告したい。